

記入例

令和元年分 給与所得者の保険料控除申告書

◆特に申告するもの なし ①のみ記載

◆保険料控除等の申告あり→①、②～⑤の記載

②生命保険の証明書 あり

生命保険 介護保険 個人年金毎に記載

③地震保険の証明書 あり

④社会保険(国民健康保険、国民年金等)の支払 あり

⑤小規模企業共済の支払 あり

☆上記2.~5.の申告がある場合は証明書の添付が必要となります(国民健康保険は不要です)

印を忘れずに押してください。

所得者の保険料

①

あなたの氏名	ヤマダ ハナコ 山田 はな子
あなたの住所 又は 居所	東京都新宿区西新宿〇-〇-〇 △□マンション103



②	〇×生命	終身	30	山田 はな子	山田 一男 父	旧	(a)	25,000
生命保険料	〇×生命	終身	30	山田 はな子	山田 一男 父	旧	(a)	80,000
	(a)のうち新保険料等の合計額 A	25,000	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等専用)に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計(①+②) ③	40,000
	(a)のうち旧保険料等の合計額 B	80,000	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等専用)に当てはめて計算した金額		②	(最高30,000円)	②と③のいずれか大きい金額 ④	45,000
介護医療保険料	〇×生命	介護	10	山田 はな子	山田 一男 父	(a)	(a)	80,000
	(a)の金額の合計額 C	80,000	Cの金額を下の計算式Ⅲ(新保険料等専用)に当てはめて計算した金額		⑤	(最高40,000円)	⑤	40,000
個人年金保険料	〇×生命	〇〇年金	30	山田 はな子	本人	新	(a)	90,000
	〇×生命	〇〇年金	30	山田 はな子	本人	旧	(a)	30,000
保険料	(a)のうち新保険料等の合計額 D	90,000	Dの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等専用)に当てはめて計算した金額		④	(最高40,000円)	計(④+⑤) ⑥	40,000
	(a)のうち旧保険料等の合計額 E	30,000	Eの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等専用)に当てはめて計算した金額		⑤	(最高30,000円)	⑥と⑦のいずれか大きい金額 ⑦	40,000
	計算式Ⅰ(新保険料等専用)※	計算式Ⅱ(旧保険料等専用)※		生命保険料控除額計(②+③+⑦)(最高120,000円)		120,000		
A,C又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額		控除額の計算式		
20,000円以下		A,C又はDの金額		25,000円以下		B又はEの金額		
20,001円から40,000円まで		A,C又はD×1/2+10,000円		25,001円から50,000円まで		B又はE×1/2+12,500円		
40,001円から80,000円まで		A,C又はD×1/4+20,000円		50,001円から100,000円まで		B又はE×1/4+25,000円		
80,001円以上		一律に40,000円		100,001円以上		一律に50,000円		

③

会社等名称	保険等の種類(目的)	保険期間	契約者の氏名	地震保険料又は旧長期損害保険料の金額	給与の支払者の確認印
××火災	地震(建物)	5年	山田 はな子	42,000	④
〇〇火災	積立傷害	12年	山田 はな子	14,800	旧長期
④のうち地震保険料の金額の合計額				⑧	142,000
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額				⑨	14,800
地震保険料控除額				(最高50,000円)	50,000

④の金額(⑧の金額が10,000円を超える場合は、⑧×1/2+5,000円)※

④

社会保険の種類	保険料支払先の名称	氏名	あなたが本年中に支払った保険料の金額
新宿区役所	国民健康保険	山田 はな子	56,000
合計(控除額)			56,000

⑤

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計(控除額)	

◎この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。